

オフィスビル最前線

THE FOREFRONT OF OFFICE BUILDINGS

東京の新しいビジネス都心として
注目を集める品川駅東口地区。
様々な都市機能が集積する同地区に、
平成15年4月、超高層30階建ての
ビジネス拠点が誕生する。

太陽生命品川ビル
太陽生命保険相互会社

新ビジネス都心“品川”

東京の南の玄関口として、JR山手・京浜東北・東海道・横須賀の各線、そして、京浜急行線、都営地下鉄が乗り入れる「品川」駅。丸の内や新宿をはじめとする都内主要拠点へのアクセスが容易で、また、羽田空港、成田空港もダイレクトに結んでいる。

なかでも、品川駅東口地区は東京の新たなビジネス都心として注目を集めているエリア。すでに品川インターシティなどがオープンし、平成15年には、品川駅東口B-1地区に数棟の超高層ビルの竣工が予定され、さらに様々な都市機能が集積し、新たなビジネスセンターとして確固たる地位が

築かれることとなる。そのB-1地区の一角に、超高層インテリジェントビル「太陽生命品川ビル」が同年4月オープンする。

快適なビジネス環境

同ビルは、地下3階、地上30階建て。4階から30階がオフィスフロアで、2階部分で歩行者専用通路であるスカイウェイと繋がり、駅からは東西自由通路とスカイウェイにより雨に濡れることなくアプローチできる。

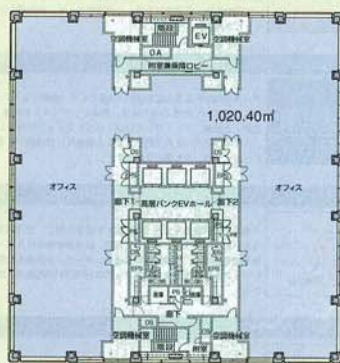
基準階は、1フロア約300坪と約270坪の2タイプ。オフィスフロアは、2,700mmの天井高、150mmのOAフロア、60V A/m²のコンセント容量を装備。コンピュータ

ネットワークの更新や配線変更などにフレキシブルに対応する。通信インフラの多数化、多種化に対しても、複数のメガキャリア通信線が引込み可能。最新のITをスムーズに導入できるよう、各フロアのEPS内に電話端子盤を設置し、レイアウト変更に伴うOA電源配線や通信配線等の工事が容易に行えるよう配慮されている。

加えて、オフィスワーカーの生産性をより高めるビジネス環境の一つとして、きめ細かな空調を可能にしたゾーン空調を採用。1フロアを4区画に分割し、それぞれの区画ごとに4管式空調設備を設置。各空調機はインテリア系とペリメータ系に分かれ、スパンごとに制御する可変風量方式との組み合わせにより、多様な室内使用条件に対応する。

また、セキュリティもより充実させた。ビル出入口にはITVカメラを設け、防災センターで監視。各テナントの最終出入口には非接触型ICカードリーダーを設置し、最終退出者が出た後は、照明、エレベータ、防犯センサーなどの各種機能が連動し、自動的に作動する。

平成15年秋には、JR東海道新幹線の品川新駅が開業される品川。交通拠点としての利便性がさらに高まり、同ビルに熱い視線が注がれることだろう。



■基準階B平面図

■建物概要

所在地 / 東京都港区港南2-16-2	建築主 / 太陽生命保険相互会社
敷地面積 / 3,811.15m ² (1,152.87坪)	設計監理 / (株)大林組・三菱地所設計(株)・(株)NTTファンリテイズ 設計監理共同体
延床面積 / 57,273.81m ² (17,325.32坪)	施工 / (株)大林組・大豊建設(株)・栗本建設工業(株)・小松建設工業(株) 共同企業体
構造 / 鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造	竣工 / 平成15年3月末予定
規模 / 地下3階、地上30階、塔屋2階	
エレベータ / 低層用24人乗6基 高層用24人乗6基 非常用21人乗1基	
駐車場 / 機械式平面往復94台 機械2段式立体18台 自走式28台	

SHINAGAWA BUILDING

21世紀を変えていく。

品川駅前の高感度ビジネスステージ。

安心して働ける先進のビジネス環境。

省エネルギーを追求したエコロジー設計。


先進ITに対応できる最新通信システム。

きめ細かな空調を可能にしたゾーン制御。

フレキシビリティの高いオフィス空間。



お問い合わせ、お申し込み

 **太陽生命**
不動産部

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-11-2

TEL:03-3231-8681 (ダイヤルイン)

FAX:03-3272-3963